

マラキ書 マラキ

¹ マラキを通してイスラエルに臨んだ主*
の宣告。

² 「私はあなたがたを愛した」と主は言われる。
しかし、あなたがたは言う。「どのようにわれわれを愛されたのですか。」

主は言われる。「エサウはヤコブの兄ではなかったか。それでも私はヤコブを愛し、

³ エサウを憎んだ。私は彼の山々を荒れ果てた所とし、その相続地を荒野のジャッカルに与えた。」

⁴ エドムは言う。「われわれは打ち倒されたが、戻って廃墟を建て直そう。」しかし、万軍の主はこう言われる。「彼らは建てるが、私は打ち壊す。人々は彼らを『悪の地』、『主が永遠に憤られる民』と呼ぶ。」

⁵ あなたがたは自分の目でこれを見て言う。
「主はイスラエルの国境を越えても大いなる方である。」

⁶ 「子は父を敬い、しもべは主人を敬う。それなら、私が父であるなら、私への敬意はどこにあるのか。私が主人であるなら、私への畏れはどこにあるのか」と万軍の主は、私の名を侮る祭司であるあなたがたに言われる。「あなたがたは言う。『われわれはどのようにあなたの名を侮ったのですか。』

* 1:11:1 すべて大文字の「主」または「神」はヘブル語のיהוה（ヤハウェ）から来てい

7 あなたがたは私の祭壇に汚れたパンをささげている。それでも言う。『われわれはどのようにあなたを汚したのですか。』あなたがたが、『主の食卓は卑しいものだ』とみなしていることによってである。

8 目の見えない動物をいけにえとしてささげるのは、悪ではないか。足の不自由なものや病気のものをささげるのは、悪ではないか。それをあなたの総督に差し出してみよ。彼はあなたを喜んで迎えるだろうか。あなたを好意をもって受け入れるだろうか」と万軍の主は言われる。

9 「今、どうか神[†]の恵みを求めよ。神がわれわれを恵んでくださるように。このようなささげ物をあなたがたの手から受け取って、神があなたがたのだれかを好意をもって受け入れるだろうか」と万軍の主は言われる。

10 「あなたがたの中に、だれか扉を閉ざす者がいればよいのに。そうすれば、あなたがたが私の祭壇にむなしく火を燃やすこともない。私はあなたがたを喜ばない」と万軍の主は言われる。「あなたがたの手からささげ物を受け入れることもない。

11 日の昇る所から沈む所まで、私の名は諸国民の間で大いなるものである。あらゆる場所ので私の名のために香がたかれ、清いささげ物がささげられる。私の名は諸国民の間で大いなるものからだ」と万軍の主は言われる。

12 「しかし、あなたがたは、『主の食卓は汚れており、そこに供えられる食物も卑しいものだ』と言って、私の名を汚している。

[†] 1:9:1:9 「神」と訳されたヘブル語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

13 あなたがたはまた、『見よ、[‡]なんという重荷だ』と言い、それを鼻であしらっている」と万軍の主は言われる。「あなたがたは奪い取ったもの、足の不自由なもの、病気のものを持って来て、ささげ物としている。私はそれをあなたがたの手から受け入れるべきだろうか」と主は言われる。

14 「群れの中に傷のない雄がいるのに、誓願を立てながら、欠陥のあるものを主[§]にいけにえとしてささげる欺く者は、のろわれる。私は大いなる王であり、私の名は諸国民の間で畏れられているからだ」と万軍の主は言われる。

2

1 「祭司たちよ、今、この命令をあなたがたに与える。

2 あなたがたが聞かず、私の名に栄光を帰すことを心に留めないなら」と万軍の主は言われる。

「私はあなたがたにのろいを送り、あなたがたの祝福をのろう。まことに、私はすでにそれらをのろった。あなたがたが心に留めていないからだ。

3 見よ、私はあなたがたの子孫^{*}を責め、あなたがたの顔に糞をまき散らす。あなたがたの祭りのいけにえから出た糞を。あなたがたも、それとともに運び去られる。

4 その時、あなたがたは、レビとの私の契約が続くために、私がこの命令をあなたがたに与えたことを知る」と万軍の主は言われる。

[‡] 1:13 1:13 「見よ」と訳された言葉はヘブル語の^{רָא}から来ており、「見なさい」「注

§ 1:14 1:14 「主」と訳された言葉は「アドナイ」である。 * 2:3

2:3 または「種」。

5 「私の契約は、彼に命と平和を与えるものであった。私はそれらを彼に与え、彼は私を畏れた。彼は私を畏れ、私の名の前におののいた。

6 真実の律法が彼の口にあり、その唇には不義が見いだされなかった。彼は平和と正しさのうちに私とともに歩み、多くの者を不義から立ち返らせた。

7 祭司の唇は知識を守り、人々はその口から律法を求めるべきである。祭司は万軍の主の使者だからだ。

8 しかし、あなたがたは道からそれ、多くの者を律法につまずかせた。あなたがたはレビの契約を損なった」と万軍の主は言われる。

9 「それゆえ私も、あなたがたをすべての民の前でさげすまれ、卑しめられる者とした。あなたがたが私の道を守らず、律法を扱う時に人をえこひいきしたからだ。」

10 われわれには皆、一人の父がいるのではないか。一人の神がわれわれを創造されたのではないか。それなのに、なぜわれわれは互いに兄弟を裏切り、父祖たちの契約を汚すのか。

11 ユダは裏切った。イスラエルとエルサレムの中で忌まわしいことが行われた。ユダは主が愛しておられる聖なるものを汚し、異国の神の娘と結婚したからだ。

12 主は、このことを行う者を、呼びかける者もそれに答える者も、ヤコブの天幕から断ち滅ぼす。たとえ万軍の主にささげ物をささげる者であっても、断ち滅ぼす。

13 「あなたがたはさらに、このことを行っている。涙と泣き声とうめきで主の祭壇を覆っている。主がもはやささげ物に目を留めず、あなたがたの手から喜んで受け取られないからだ。

14 それでもあなたがたは、『なぜですか』と言う。それは、主があなたと、あなたの若い時の妻との間の証人だからだ。彼女はあなたの伴侶であり、契約を結んだ妻であるのに、あなたは彼女を裏切った。

15 主は二人を一つにされたではないか。しかも、主にはなお御霊の余りがあつた。それなのに、なぜ一つにされたのか。神を敬う子孫を求められたからだ。だから、自分の霊を守り、だれも若い時の妻を裏切ってはならない。

16 『妻を憎んで離婚する者は、その衣を暴虐で覆う』とイスラエルの神、主は言われる。『だから、自分の霊を守り、裏切ってはならない』と万軍の主は言われる。」

17 あなたがたは自分の言葉によって主を疲れさせた。それでも言う。「われわれはどのよう

に主を疲れさせたのですか。」あなたがたが、
「悪を行う者は皆、主の目には良い者であり、主はそのような者を喜ばれる」と言い、あるいは「公正の神はどこにおられるのか」と言うことによってである。

3

1 「見よ、私は私の使者を遣わす。彼は私の前に道を備える。あなたがたが求めている主が、突然その神殿に来られる。見よ、あなたがたが望んでいる契約の使者が来る」と万軍の主は言われる。

2 「しかし、だれがその方の来られる日に耐えられるだろうか。その方が現れる時、だれが立っているだろうか。その方は精錬する者の火のようであり、布を洗う者の灰汁のようだからだ。

3 その方は銀を精錬し、清める者として座り、レビの子らを清め、金や銀のように精錬する。彼らは義にかなうささげ物を主にささげる。

4 その時、ユダとエルサレムのささげ物は、昔の日々、遠い昔の年月のように、主に喜ばれる。

5 私は裁きのためにあなたがたに近づく。私は、魔術を行う者、姦淫する者、偽つて誓う者、雇い人の賃金を奪う者、やもめとみなしごを虐げる者、寄留者から公正を奪う者、私を畏れない者に対して、すみやかに証言する」と万軍の主は言われる。

6 「主である私は変わらない。それゆえ、ヤコブの子らよ、あなたがたは滅ぼし尽くされない。

7 あなたがたは父祖の時代から、私の定め
に背き、それを守らなかった。私に立ち返れ。そうすれば、私もあなたがたに立ち返る」と万軍の主は言われる。「しかし、あなたがたは言う。『どのようにして立ち返ればよいのですか。』

8 人が神から奪うことがあるだろうか。しかし、あなたがたは私から奪っている。それでも言う。『われわれはどのようにあなたから奪ったのですか。』十分の一とささげ物によってである。

9 あなたがたは、のろいの下にある。この民全体が私から奪っているからだ。

10 十分の一をすべて倉に携えて来て、私の家にある物があるようにせよ。このことで、今、私を試してみよ」と万軍の主は言われる。「私があなたがたのために天の窓を開き、受けきれないほどの祝福を注ぐかどうか、確かめよ。

11 私はあなたがたのために食い荒らすものを責める。それはあなたがたの土地の実りを滅ぼさない。畑のぶどうの木も、実る前にその実を落とさない」と万軍の主は言われる。

12 「すべての国々は、あなたがたを幸いな者と呼ぶ。あなたがたは喜ばしい地となるからだ」と万軍の主は言われる。

13 「あなたがたは私に逆らって、厳しい言葉を語った」と主は言われる。「それでも、あなたがたは言う。『われわれはあなたに逆らって何を語ったのですか。』」

14 あなたがたは言った。『神に仕えることはむなしい。神の命令を守り、万軍の主の前で嘆きながら歩んでも、何の益があるだろうか。』

15 今、われわれは高ぶる者を幸いだと言う。悪を行う者たちは栄え、神を試みても逃れている。』」

16 その時、主を畏れる者たちは互いに語り合った。主は耳を傾けて聞かれ、主を畏れ、その御名を尊ぶ者たちのために、御前で記念の書が記された。

17 「私が定める日に、彼らは私のもの、私の宝となる」と万軍の主は言われる。「人が自分に仕える息子をあわれんで守るように、私は彼らを守る。」

18 その時、あなたがたは再び、義人と悪者との違い、神に仕える者と仕えない者との違いを見分ける。」

4

1 「見よ、炉のように燃える日が来る。その時、高ぶる者と悪を行う者は皆、刈り残された茎のようになる。来るべきその日は彼らを焼き尽くし、根も枝も残さない」と万軍の主は言われる。

2 「しかし、私の名を畏れるあなたがたには、義の太陽が昇り、その翼には癒しがある。あなたがたは牛舎から放たれた子牛のように跳びはねる。」

³ あなたがたは悪者を踏みつける。私が定める日、彼らはあなたがたの足の下で灰となる」と万軍の主は言われる。

⁴ 「私のしもべモーセの律法、すなわち私がホレブでイスラエル全体のために彼に命じた定めと規定を覚えよ。

⁵ 見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、私は預言者エリヤをあなたがたに遣わす。

⁶ 彼は父たちの心を子どもたちに向けさせ、子どもたちの心を父たちに向けさせる。そうでなければ、私は来て、のろいをもって地を打つ。」

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424